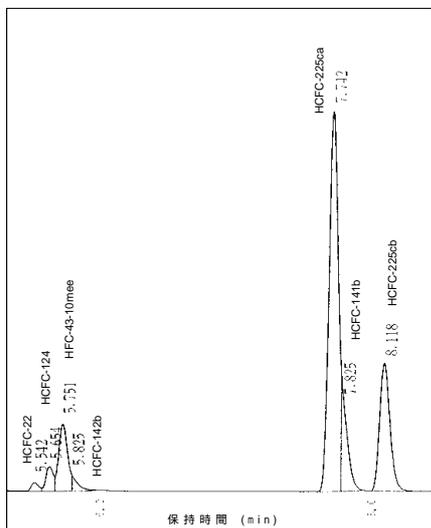


GC - ECDによる除外物質（メタンを除く。）の測定条件の検討結果

1. ガスクロマトグラム



試料導入方法	スプリット注入法 (20 : 1)
注入口温度	100
キャピラリーカラム	Aquatic 60m × 0.25mm I.D. 膜厚 : 1.0 μm
カラム槽温度	40 (5 /min) 90 (20 /min) 200
キャリアガス流量	窒素 0.9ml/min
試料注入量	0.10ml

図 - 1 GC-ECDによる除外物質（メタンを除く。）ガスクロマトグラム

2. 測定範囲

1 ~ 1000ppm の混合標準ガスをガスクロマトグラムに導入し、直線性の確認を行った。

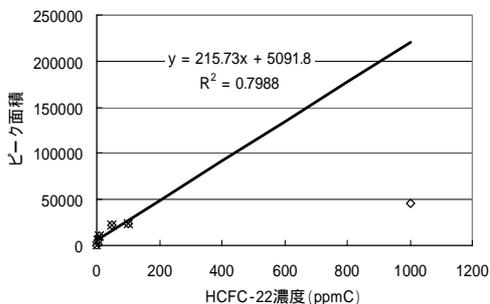


図 - 2(1) GC-ECDによるHCFC-22の測定範囲

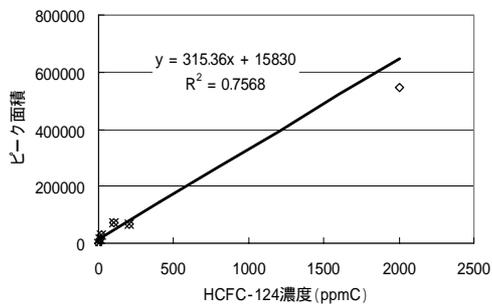


図 - 2(2) GC-ECDによるHCFC-124の測定範囲

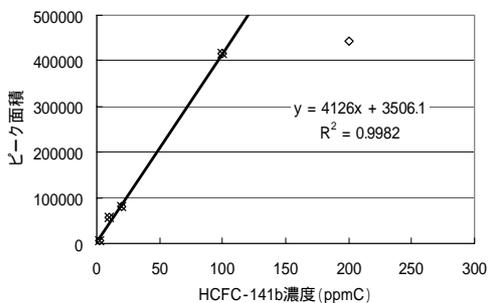


図 - 2(3) GC-ECDによるHCFC-141bの測定範囲

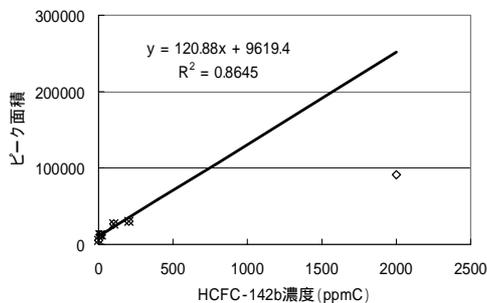


図 - 2(4) GC-ECDによるHCFC-142bの測定範囲

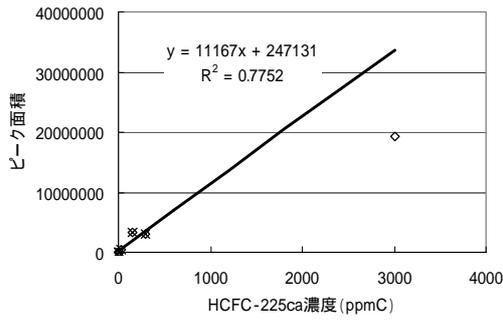


図 - 2(5) GC-ECDによるHCFC-225caの測定範囲

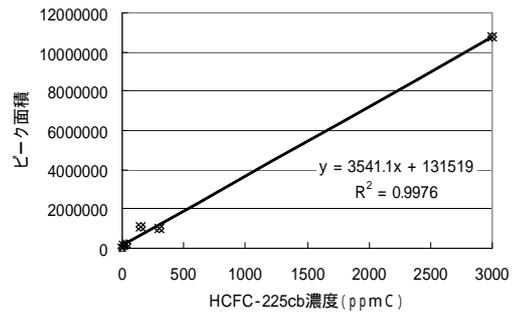


図 - 2(6) GC-ECDによるHCFC-225cbの測定範囲

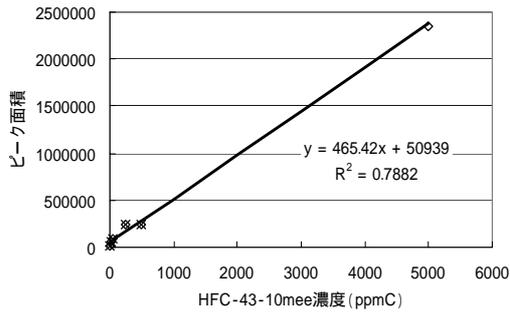


図 - 2(7) GC-ECDによるHFC-43-10meeの測定範囲

(注) 図に示した一次回帰直線は、物質によって回帰した濃度範囲が異なる

3. 繰り返し分析精度

1 ppm の除外物質（メタンを除く。）の GC-ECD による繰り返し分析精度は表のとおり。

表 GC-ECD による繰り返し分析精度

除外物質名	繰り返し分析精度(CV%)	除外物質名	繰り返し分析精度(CV%)
HCFC-22	4.2	HCFC-225ca	4.9
HCFC-124	4.4	HCFC-225cb	5.3
HCFC-141b	8.9	HFC-43-10mee	5.4
HCFC-142b	9.6		

(注) 繰り返し分析精度(CV%) = $\frac{5 \text{ 回の測定値の標準偏差}}{5 \text{ 回の測定値の平均値}} \times 100$